

令和 2年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	坂田 温
全体計画	平成31年度 ~ 令和 5年度			経費区分	実施計画事業費			内線	245-1770		
事務事業名	14245 臥竜公園施設整備事業										
所 属	200200 まちづくり推進部・まちづくり課										
施 策	06023100 良好な景観要素の保全と育成の推進										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	080404 土木費・都市計画費・臥竜公園管理事務所費									
	事業	980000 臥竜公園施設整備事業									
事業目的						事業概要・効果					
2031年の竜ヶ池開池100周年を踏まえ、臥竜公園の市民の憩いの場としての魅力ある環境整備を進める						社会資本整備総合交付金を活用し、臥竜公園の竜ヶ池や周辺施設の長寿命化を図る。 長野県森林づくり県民税を活用し、里山整備利用推進協議会での里山整備利用地域活動計画により、みんなで支える里山整備事業を進める。					

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
平成29年度 実績	平成30年度 実績
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・ 臥竜公園里山整備利用促進基本構想により里山整備 ・ 臥竜山の森林整備 	臥竜公園管理事業で実施

指標名	須坂市動物園入園者数						
算式						単位	人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標	160,000	150,000	150,000	150,000	150,000	
	実績	136,576	142,755	134,919	126,656		
指標選定の理由	公園利用者だけを算出することは出来ないので動物園の来園者を指標にする。						
最終年度 目標の根拠	過去の実績を基に算定						
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		750	0
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	600	0
	その他	0	0
一般財源		150	0
人員数 (人)	正規職員	1.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	7,265.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	7,265.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.2	0.0
総額		8,015.0	0.0

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	693	工事請負費693
19節 負担金補助及び交付金	57	負担金57
その他	0	

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	市民の憩いの公園であり、県内はもとより国内外からも多くの観光客が訪れる公園として、魅力アップ対策を進めることが市全体の経済効果や活性化に波及できる。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	臥竜山等の予てからの課題（魅力アップに等）について解決が図られる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	工事には多額の費用が必要であり、国や県の交付金等を活用し財源を確保し進める。また、民間の独創的なアイデアやノウハウを活用した「先導的な官民連携リノベーションによる活性化事業」が出来ないか民間活力導入可能性調査を実施した。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

- ・新型コロナウイルス感染症予防対策として順次トイレの洋式化の改修が必要。
- ・里山整備利用地域活動計画により、臥竜山の里山整備を進めることが必要。
- ・官民連携リノベーションによる活性化事業と整合しながら整備を進めることが必要。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
市民の憩いの公園であり、市内外から多くの人々が訪れる公園でもあり、施設の魅力アップが必要であり官民連携事業と整合し施設等整備を進めることが必要。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
市民に親しまれている公園を、より魅力あるものとなるよう、里山整備などの事業を進めながら、整備を計画的に進める必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	